■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

レンズ交換式デジタルカメラ取扱説明書および付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報など）は下記のホームページから

『α』専用サポートサイト
http://www.sony.co.jp/DSLR/support/

『α』オフィシャルサイト
http://www.sony.jp/ichigan-e/
レンズ交換式デジタルカメラの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。(English manual download service is available.)

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口

フリーダイヤル……0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」＋「＃」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間：月〜金 9:00 〜 18:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

●修理相談窓口

フリーダイヤル……0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「402」＋「＃」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間：月〜金 9:00 〜 20:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）：0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書はVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

NEX-5N

SONY

4-288-916-**02**(1)

レンズ交換式デジタルカメラ

取扱説明書

Eマウント

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

α

NEX-5N

⚠警告 安全のために

→ *89 ～ 92ページも*
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

→

❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

目次

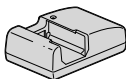
本書では付属するレンズが異なる機種をまとめて記載しています。
レンズによって、機種名が変わります。

機種名	付属されるレンズ
NEX-5N	なし
NEX-5ND	E18-55mmとE16mm
NEX-5NK	E18-55mm
NEX-5NY	E55-210mmとE18-55mm

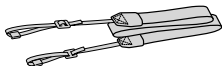
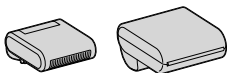
付属品を確認する

ご自分のカメラの機種名をご確認の上(4ページ)、付属品をお確かめください。
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
( )内は個数

全機種共通

- カメラ(1)
- バッテリーチャージャー BC-VW1 (1)

- リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50 (1)

- USBケーブル(1)

- ショルダーストラップ(1)

- フラッシュ HVL-F7S (1) /フラッシュケース(1)

- CD-ROM (1)
  - –αアプリケーションソフトウェア
  - –αハンドブック
- 取扱説明書(本書)(1)
- 保証書(1)

NEX-5N

- ボディキャップ(1)(本機に装着)

NEX-5ND

- E16mm単焦点レンズ(1)(レンズフロントキャップ、レンズリヤキャップ含む)
- E18-55mmズームレンズ(1)(レンズフロントキャップ含む)(本機に装着)/レンズフード(1)

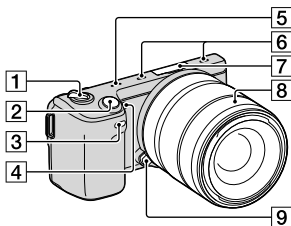
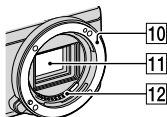
NEX-5NK

- E18-55mmズームレンズ(1)(レンズフロントキャップ含む)(本機に装着)/レンズフード(1)

NEX-5NY

- E18-55mmズームレンズ(1)（レンズフロントキャップ含む）（本機に装着）/レンズフード(1)
- E55-210mmズームレンズ(1)（レンズフロントキャップ、レンズリヤキャップ含む）/レンズフード(1)

各部の名前を確認する

( )の数字は、参照ページです。

レンズ取りはずし時

1 ON/OFF（電源）スイッチ(20)

2 シャッターボタン(22)

3 リモコン受光部

4 AF補助光/セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ

5 スピーカー

6 マイク[1]

7 スマートアクセサリーターミナル2[2](18)

8 レンズ(15)

9 レンズ取りはずしボタン(16)

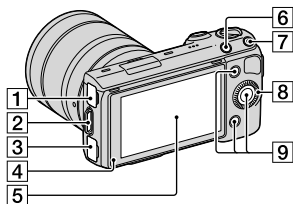
10 マウント

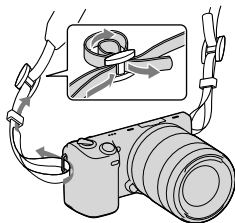
11 イメージセンサー[3]

12 レンズ信号接点[3]

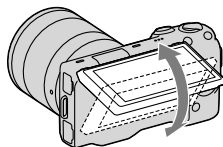
[1] 動画撮影時はふさがないでください。

[2] スマートアクセサリーターミナル対応のアクセサリーも使用できます。

[3] 直接手で触れないでください。

1 (USB)端子

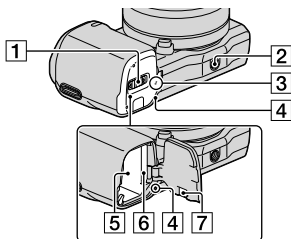
2 ショルダーストラップ取り付け部
落下防止のため、ストラップを付けてお使いになることをおすすめします。

3 HDMI端子(49)

4 明るさセンサー

5 液晶モニター /タッチパネル(27)
液晶モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。

6 (再生)ボタン(24)

7 MOVIE(ムービー)(動画)ボタン(23)

8 コントロールホイール(26)

9 ソフトキー(27)

1 バッテリー /メモリーカードカバー（13、17）

2 三脚ネジ穴
- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使ってください。
  ネジの長さが5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

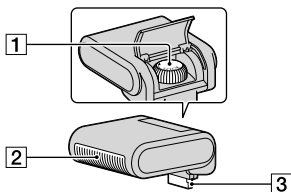
3 ⊖イメージセンサー位置表示

4 アクセスランプ（18）

5 バッテリー挿入口（13）

6 メモリーカード挿入口（17）

7 接続プレートカバー
ACアダプター AC-PW20（別売）を使うときに使います。

フラッシュ HVL-F7S

1 固定ネジ

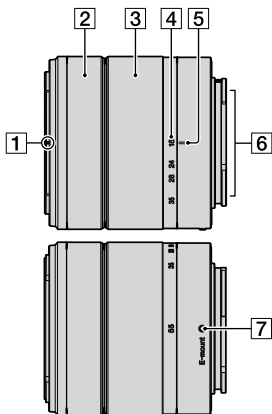
2 発光部*

3 端子部*

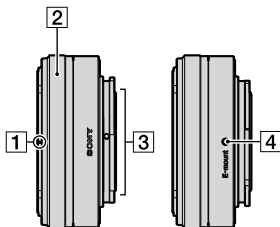
* 直接手で触れないでください。
汚れた場合は柔らかいきれいな布で拭き取ってください。

レンズ

レンズの仕様は87ページをご覧ください。

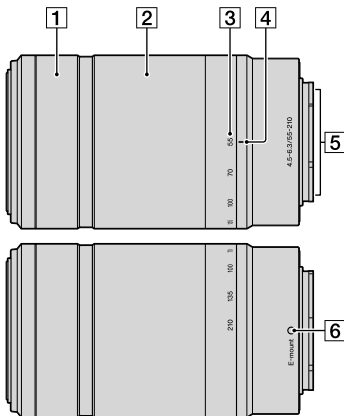
E18-55mm F3.5-5.6 OSS（NEX-5ND/5NK/5NYに付属）

1 フード指標
2 フォーカスリング
3 ズームリング
4 焦点距離目盛
5 焦点距離指標
6 レンズ信号接点*
7 マウント標点

* 直接手で触れないでください。

E16mm F2.8（NEX-5NDに付属）

1 コンバーター取り付け指標*
2 フォーカスリング
3 レンズ信号接点**
4 マウント標点

* コンバーターは別売です。

** 直接手で触れないでください。

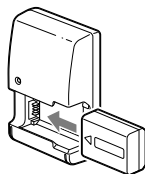
E55-210mm F4.5-6.3 OSS（NEX-5NYに付属）

1 フォーカスリング
2 ズームリング
3 焦点距離目盛
4 焦点距離指標
5 レンズ信号接点*
6 マウント標点

* 直接手で触れないでください。

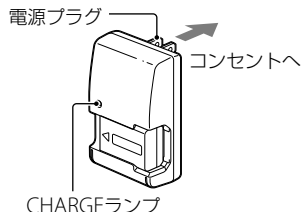
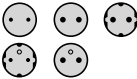
バッテリー(電池)を充電する

初めてお使いになるときは、“インフォリチウム”バッテリー NP-FW50(付属)を必ず充電してください。
“インフォリチウム”バッテリーは、使い切らない状態でも充電できます。また、充電が完了していない状態で使用することもできます。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れる。

- カチッと音がするまで軽く押す。

2 電源プラグを引き起こし、コンセントに取り付ける。

充電時間の目安	250分

- バッテリーを使い切ってから、温度25℃の環境下で充電した場合。
- 充電が完了するとCHARGEランプが消える。

ご注意

- バッテリーの残量や、充電環境によって、充電時間は異なります。
- 周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電ではCHARGEランプが速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーをバッテリーチャージャーからはずし、再度充電してください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。

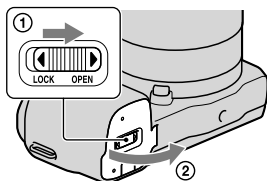
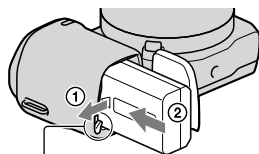
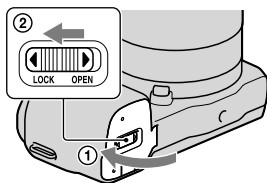
海外で使用するには

バッテリーチャージャーやACアダプター AC-PW20（別売）は全世界（AC100V ～ 240V・50Hz/60Hz）で使えます。ただし、地域によってはコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねのうえ、ご用意ください。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

バッテリー(電池)を入れる

1 カバーのオープンレバーを押し、カバーを開ける。

2 バッテリーの端でロックレバーを押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。

3 カバーを閉じる。

バッテリー残量を確認する

液晶モニターの残量表示マークと%表示で確認してください。

残量						「電池がなくなりました」
	多 → 少					撮影できません

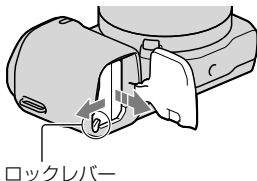
ご注意

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

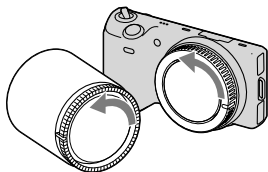
“インフォリチウム”バッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を%単位で表示します。

バッテリーを取り出す

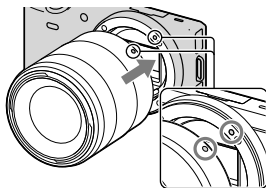
電源を切り、アクセスランプが点灯していないことを確認し、ロックレバーをずらして、バッテリーを引き出します。
このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。

レンズを取り付ける/はずす

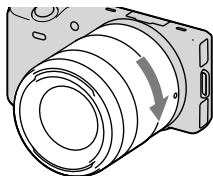
レンズの取り付け/取りはずしは、本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。

1 カメラやレンズに、キャップやカバーが付いている場合ははずす。

- カメラ内部にゴミやほこりが入らないように、ほこりの少ない場所で素早く行う。

2 レンズと本機の2つの白色の点を合わせてはめ込む。

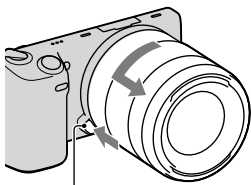
白色の点

- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付ける。

3 レンズを軽く本機に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

- レンズを斜めに差し込まない。

ご注意

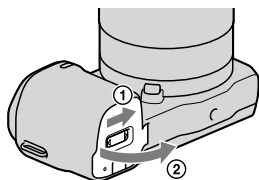
- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- Aマウントレンズ(別売)をご使用の場合は、マウントアダプター（別売)が必要です。詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。

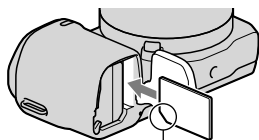
レンズを取りはずす

1 レンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずす。

ご注意

- レンズ交換の際に、カメラ内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー（フィルムの役割を果す部分)表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。本機はアンチダスト機能により電源オフ時に本機が少し振動し、ゴミやほこりが付きにくくなっておりますが、レンズの取り付け/取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。
- レンズをはずした状態のまま、カメラを放置しないでください。
- ボディキャップ、レンズリヤキャップをご使用の際は、別売のALC-B1EM（ボディキャップ)、ALC-R1EM（レンズリヤキャップ)をご購入ください。

メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーを開ける。

2 メモリーカードを入れる。

- イラストの向きに合わせ、「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

切り欠きの向きに注意する

3 カバーを閉じる。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、以下の通りです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

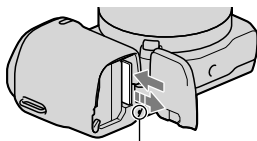
対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック PRO デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	

- マルチメディアカードは使用できません。

ご注意

- SDXCカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生したりすることはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。(exFATは、SDXCカードで使用されているファイルシステムです。)

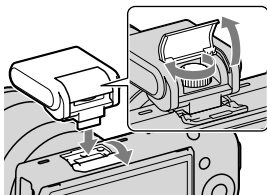
メモリーカードを取り出す

カバーを開けて、アクセスランプが点灯していないことを確認し、メモリーカードを1度押します。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。

フラッシュを取り付ける

フラッシュを発光させたいときは、付属のフラッシュを取り付けます。フラッシュ発光部を上げるとフラッシュの電源が入り、下げると切れます。
フラッシュの取り付け/取りはずしは、本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。

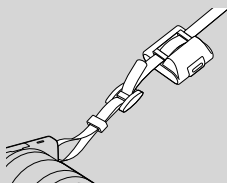
1 フラッシュを本機のスマートアクセサリーターミナル2に取り付ける。

2 ネジを回し、本機にしっかり固定する。

3 フラッシュを発光させたいときは、フラッシュ発光部を上に持ち上げる。

- 初期設定は［自動発光］です。設定の変更については、42ページをご覧ください。
- 発光させないときは、フラッシュ発光部を下げる。

ご注意

- 電源はカメラから供給されます。液晶モニターに⚡●マークが点滅しているときは、フラッシュ充電中です。このとき、シャッターは切れません。
- フラッシュを最後までしっかり差し込んでからネジを締め、本機にしっかりと固定されていることを確認してください。

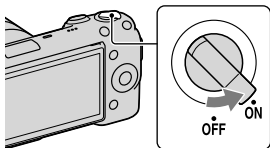
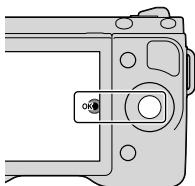
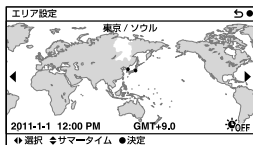
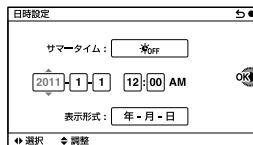
フラッシュを持ち運ぶ

フラッシュケースをストラップに取り付けることができます。持ち運ぶときに便利です。端子部の破損防止のためにも、フラッシュを持ち運ぶときはフラッシュケースに入れてください。

電源を入れ、時計を合わせる

初めて電源を入れたときは、日時設定の画面が表示されます。

1 電源スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

日時設定を要求する画面になる。

- 電源を切るときは、「OFF」にする。

2 コントロールホイールの中央を押す。または画面上のOKをタッチする。

3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、コントロールホイールの中央を押す。

4 コントロールホイールの左右で項目を選び、上下を押す。またはホイールを回して数値を設定する。

サマータイム：日本では、サマータイムは「切」にする。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

5 4の手順を繰り返して、すべて設定し、コントロールホイールの中央を押す。または画面上のOKをタッチする。

ご注意

- エリア設定、日時設定をタッチパネル操作で設定することはできません。
- 本機には、画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。詳しくは、「PMBヘルプ」(63ページ)をご覧ください。

時計合わせをやり直す/現在の時刻設定を確認する

MENU→［セットアップ］→［日時設定］を選びます(26、56ページ)。

設定した日時の保持について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バックアップ電池を内蔵しています。詳しくは80ページをご覧ください。

静止画を撮る

i（おまかせオート撮影）では、本機が撮影状況を自動的に判断して撮影します。

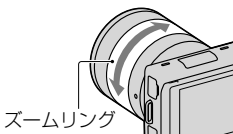
1 電源スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

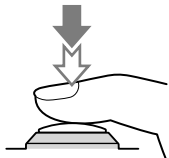
2 被写体にカメラを向ける。

カメラがシーンを認識すると、（夜景）、（三脚夜景）、（夜景&人物）、（逆光）、（逆光&人物）、（風景）、（人物）、（マクロ）、（スポットライト）、（低照度）、（赤ちゃん）の各マークとガイドが液晶モニターに出る。

シーン認識マークとガイド

3 ズームレンズの場合は、ズームリングを回して被写体の大きさを決める。

- 単焦点レンズでは、光学ズームはできません。

4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと、「ピピッ」という音がして●が点灯する。

フォーカス表示

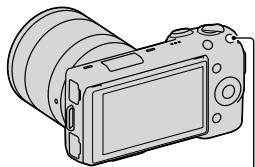
5 シャッターボタンを深く押し込む。

動画を撮る

1 電源スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

2 被写体にカメラを向ける。

3 MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を開始する。

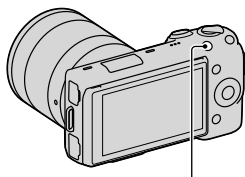
- ピントと明るさは自動で調整される。
- 撮影中にシャッターボタンを半押しすると、すばやくピントを合わせることができる。

4 もう一度MOVIE（動画）ボタンを押して、終了する。

ご注意

- 動画記録中はレンズやカメラの作動音などが記録されてしまうことがあります。MENU→［セットアップ］→［動画音声記録］→［切］にすると、音声が記録されないようにできます（55ページ）。
- 1回の連続撮影時間は環境温度や本機の使用状態によって制限されます。
- 連続して撮影している場合は、本機の温度が上昇しやすく、熱く感じることがありますが故障ではありません。また、「カメラの温度が下がるまでお待ちください」という表示が出る場合があります。その場合は、本機の電源を切って、本機の温度が下がるのを待ってから撮影してください。

再生する

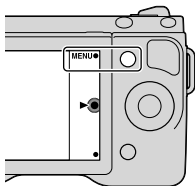
1 ▶（再生）ボタンを押す。

最後に撮影された画像が液晶モニターに表示される。

画像を選ぶ

コントロールホイールを回して画像を選ぶ。
または、画面を左右になぞって画像を選ぶ。

動画を再生する

1 ［メニュー］→［再生］→［ビューモード］→［フォルダービュー（MP4)］または［AVCHDビュー］を選ぶ。

- 静止画再生に戻すには、［フォルダービュー（静止画）］を選ぶ。

2 コントロールホイールを回して再生したい動画を選び、中央を押す。
または、再生したい動画をタッチする。

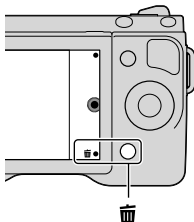
基本操作を覚える

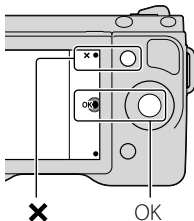
動画再生中にできること	コントロールホイール操作	タッチパネル操作
一時停止/再生	中央を押す	❚❚、►をタッチする
早送り	右を押す、または右に回す	►►をタッチする
早戻し	左を押す、または左に回す	◄◄をタッチする
正方向スロー再生	一時停止中に右に回す	一時停止中に❚►をタッチする
逆方向スロー再生*	一時停止中に左に回す	一時停止中に◄❚をタッチする
音量	下→上/下を押す	–

* 動画はコマ送りになります。

削除する

再生中の画像を削除します。

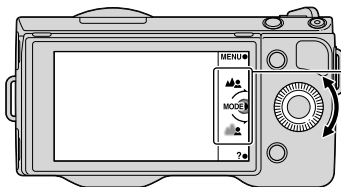
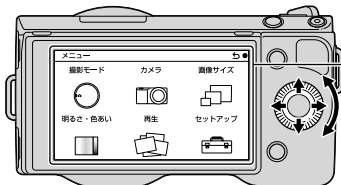
1 削除したい画像を表示して、🗑(削除)ボタンを押す。
または、画面上の🗑をタッチする。

2 コントロールホイールの中央を押す。
または、画面上のOKをタッチする。

• 削除をやめるには、✖を選ぶ。

複数の画像を削除するときは
MENU→［再生］→［削除］から、画像を選んで削除したり、まとめて削除したりすることができます。

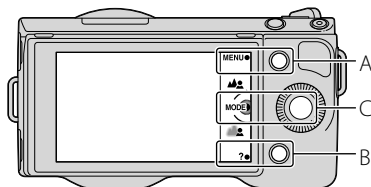
本機の操作方法

コントロールホイール、ソフトキー、タッチパネルを使って、多くの機能を使いこなすことができます。

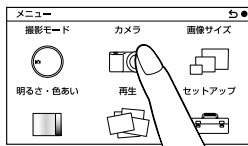
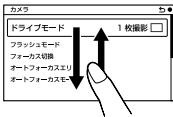
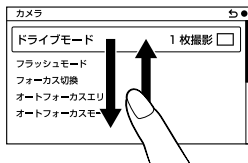
コントロールホイール

コントロールホイールには、撮影時にはDISP（画面表示切換）と(露出補正)、/ (ドライブモード)の機能が、再生時にはDISP（画面表示切換）と（一覧表示）の機能が割り当てられています。
また、画面表示に従ってコントロールホイールを回したり、上下左右を押したりすると、項目を選ぶことができます。選んだ項目は、中央を押すと決定されます。

曲線矢印は、コントロールホイールを回すことを示しています。

画面上に選択項目が出ている場合は、コントロールホイールを回したり、上下左右を押したりして項目を移動できます。
中央を押して決定します。

ソフトキー

ソフトキーは目的によって役割が変わります。
何の機能が割り当てられているかは、それぞれ画面に表示されます。
画面右上に表示される機能を使うときはAのボタンを、画面右下に表示される機能を使うときはBのボタンを押します。中央の機能を使うときは、コントロールホイールの中央を押します(Cボタン)。
本書では、画面に表示されているアイコンまたは機能名称でこのソフトキーを表現しています。

この場合、AはMENU（メニュー）ボタンになり、Bは？（撮影アドバイス）ボタンになります。CはMODE（撮影モード）ボタンになります。

タッチパネル

画面をタッチしたり、なぞったりすることで直感的に操作することができます。項目を選ぶときは、画面に表示されている項目をタッチします。また隠れている項目を表示(スクロール)させるときは、画面をなぞります。

項目をタッチして決定します。

画面をなぞるとスクロールします。
画面上に表示されていなかった項目が現れます。

操作方法

項目の選択や設定をするときに、コントロールホイールを使う方法と、タッチパネル画面を直接タッチしたり、なぞったりする方法の2通りの操作方法があります。

操作	方法	
	コントロールホイール	タッチパネル
項目を選ぶ	回す、または上下左右を押して希望の項目を選び、中央を押して決定する。	希望の項目をタッチして決定する。
隠れている項目を表示する	項目が出てくるまで回す、または上下を押し続ける。	項目が出てくるまで、項目を上下になぞる。
数値やぼかし具合を調整する	回す。	インジケーターをなぞる。
再生画像を送る/戻す	回す、または左右を押す。	再生画像を左右になぞる。

ご注意

- ほとんどの画面では、タッチパネルで、またはコントロールホイールとソフトキーでのどちらでも操作ができます。一部の画面ではどちらかでしか操作できません。
- タッチパネルで以下のような操作を行わないでください。誤動作の原因となります。
  - 鉛筆やボールペン、爪先などとがったものでの操作
  - カメラを持つ手が画面にかかっている状態での操作
- 手袋をしているとタッチパネルが反応しないことがあります。

ガイドを参考にして使う

本機は機能の説明を示す「ヘルプガイド」や、撮りかたのコツを紹介する「撮影アドバイス」のガイド機能を搭載しています。
ガイド機能を利用して、本機を使いこなしましょう。

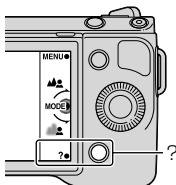
ヘルプガイド

設定を変えたときなど、選んだ機能に関する説明を液晶モニターに表示します。

MENU→［セットアップ］→［ヘルプガイド表示］→［切］で、表示しないようにすることもできます。

撮影アドバイス

選んでいる撮影モードに応じたアドバイスを表示します。

① 画面右下に？と表示されているとき、右下のボタンを押す（27ページ）。または、画面上の？をタッチする。
シーンに応じた撮影アドバイスの一覧が表示される。

② コントロールホイールの上下で見たい撮影アドバイスを選び、中央を押す。

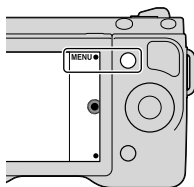
- コントロールホイールの左右で項目を変更できます。
- コントロールホイールを回すと、続きを読むことができます。

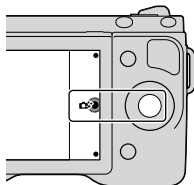
撮影アドバイスを全部見るには

メニューから、すべての撮影アドバイスを表示することができます。
以前に見た撮影アドバイスを、もう一度見たいときに使います。
① MENU→［カメラ］→［撮影アドバイス一覧］を選ぶ。
② 見たい撮影アドバイスを探す。
見たい項目を［目次］から選んで表示することもできます。

マイフォトスタイルで設定を変更する

マイフォトスタイルは、通常の画面とは異なるデザインで直感的にカメラを操作できるモードです。かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 MENU→［撮影モード］→i(おまかせオート)を選ぶ。

2 コントロールホイールの中央を押す。または、画面上の(マイフォトスタイル)をタッチする。

マイフォトスタイルの画面になる。

3 コントロールホイールの左右で設定を変更する項目を選ぶ。または、画面上の設定を変更する項目をタッチする。

(背景ぼかし)：背景のぼかし具合を調整する。

(明るさ)：明るさを調整する。

(色あい)：色あいを調整する。

(鮮やかさ)：鮮やかさを調整する。

(ピクチャーエフェクト)：好みの効果を選んで、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影する。

4 コントロールホイールを回して希望の設定を選ぶ。
または、画面上のインジケーターや項目をタッチして希望の設定を選ぶ。

- 手順2から4を繰り返して、色々な設定を組み合わせることができる。

ご注意

- マイフォトスタイルは、Eマウントレンズでのみ使用できます。

背景ぼかし

1 (背景ぼかし)を選ぶ(31ページ)。

2 コントロールホイールを回して、好みのぼかし具合にする。
または、画面上のインジケーターをなぞって好みのぼかし具合にする。

：くっきりする。

：ぼける。

- 元に戻すには、AUTOを選ぶ。
- 設定したぼかし具合で動画も撮影できる。

ご注意

- 被写体との距離や使用するレンズによっては効果が得られにくい場合があります。

きれいに背景をぼかすには

- 被写体に近づいて撮影する。
- 被写体とぼかしたい背景との距離を離す。

ピクチャーエフェクト

1 (ピクチャーエフェクト)を選ぶ(31ページ)。

2 コントロールホイールを回して希望の効果を選ぶ。
または、画面上の項目を上下になぞって希望の効果を選ぶ。

OFF(切):ピクチャーエフェクトを使わない。

(トイカメラ):周辺が暗く、独特の色合いをもった仕上がりになる。

(ポスタリゼーション:カラー):原色のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。

(ポスタリゼーション:白黒):白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。

(ポップカラー):色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

(レトロフォト):古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

(パートカラー):指定の色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。

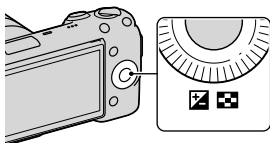
(ソフトハイキー):明るく、透明感や軽さ・優しさ・柔らかさを持ったような仕上がりになる。

(ハイコントラストモノクロ):明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

- [メニュー] → [明るさ・色合い] → [ピクチャーエフェクト]では、より多くの効果を設定できる。

写真の明るさを変える（露出補正）

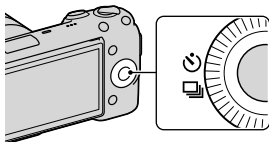
－3.0EVから＋3.0EVの範囲で、1/3EV単位で露出を調節できます。

1 **コントロールホイールの
☒（露出補正）を押す。**

2 **コントロールホイールを回して好みの設定値を選び、中央を押す。
または、画面上のインジケーターをなぞって好みの設定値を選ぶ。**

画像が明るい場合：露出補正を－側にする。

画像が暗い場合：露出補正を＋側にする。

セルフタイマーを使う

1　**コントロールホイールの ⏲/ ▣（ドライブモード）を押す。**

2　**コントロールホイールを回して⏲（セルフタイマー）を選ぶ。または、画面上の項目を上下になぞって⏲（セルフタイマー）を中央に移動させる。**

3　**Optionボタンを押して希望のモードを選び、中央を押す。または、画面上のOption→希望のモードの順にタッチする。**

⏲10（セルフタイマー：10秒）：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して電子音が鳴り、撮影が開始される。

⏲2（セルフタイマー：2秒）：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

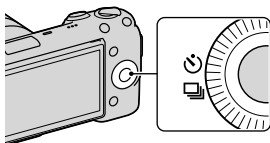
- 解除するには、もう一度 ⏲/ ▣（ドライブモード）を押す。

セルフタイマーで連写するには

⏲/ ▣（ドライブモード）の⏲C（セルフタイマー（連続））を選ぶと、10秒後に連写します。

連続して撮る

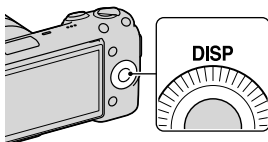
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 コントロールホイールの / (ドライブモード)を押す。

2 コントロールホイールを回して (連続撮影)を選び、中央を押す。
または画面上の項目を上下になぞって (連続撮影)を中央に移動させてからタッチする。

より高速で連写するには

 / (ドライブモード)の (速度優先連続撮影)を選ぶと、さらに速い速度で連写します(毎秒最高約10枚)。
ピントと明るさは、1枚目で固定されます。

画面の表示を変える（DISP）

1 **コントロールホイールのDISP（画面表示切換）を押す。**

2 **コントロールホイールのDISPを繰り返し押して希望のモードを選ぶ。**

撮影時

グラフィック表示：基本的な撮影情報を表示する。撮影モードが［スイングパノラマ］［3Dスイングパノラマ］以外のときは、シャッタースピードと絞りをグラフィカルに表示する。

全情報表示：撮影情報を表示する。

文字サイズ（大）表示：大きな文字で主要な項目のみを表示する。

情報表示なし：撮影情報を表示しない。

ヒストグラム：画像の明暗をグラフ（ヒストグラム）で表示する。

ファインダー撮影用：撮影画面に情報のみを表示する。ファインダー（別売）を使用して撮影するときに使う。

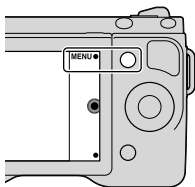
再生時

情報表示あり：撮影時の情報を表示する。

ヒストグラム：撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

情報表示なし：撮影時の情報を表示しない。

撮影モードを変えて撮る

1 MENU→[撮影モード]を選ぶ。

2 **コントロールホイールを回して希望のモードを選び、中央を押す。**
または、画面上の項目を上下になぞって希望のモードを中央に移動させてからタッチする。

i（おまかせオート）：カメラがシーンを自動判別して、オート撮影する。

SCN（シーンセレクション）：撮りたい被写体や環境に適したモードで撮影する。

（人物ブレ軽減）：暗めの室内や望遠撮影時でもブレを抑えて撮影する。

（スイングパノラマ）：パノラマサイズで撮影する。

（3Dスイングパノラマ）：3D対応テレビで再生する3Dパノラマ画像を撮影する。

M（マニュアル露出）：絞りとシャッタースピードを調節して撮影する。

S（シャッタースピード優先）：シャッタースピードを調整し、動くものの表現を変えて撮影する。

A（絞り優先）：ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影する。

P（プログラムオート）：露出（シャッタースピードと絞り）以外はお好みの設定ができるオート撮影。

シーンセレクション

1 SCN（シーンセレクション）にする（38ページ）。

2 **コントロールホイールを回して希望のモードを選び、中央を押す。**
または、画面上の項目を上下になぞって希望のモードを中央に移動させてからタッチする。

（ポートレート）：背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。

（風景）：風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。

（マクロ）：花や料理などに近づいて撮るときに適している。

（スポーツ）：高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。

（夕景）：夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。

（夜景ポートレート）：夜景を背景に手前の人物を撮る。フラッシュを取り付けて使う。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。

（手持ち夜景）：三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。

人物ブレ軽減

室内での人物撮影に適しています。フラッシュを使わずに被写体ブレを軽減した撮影ができます。

1 **（人物ブレ軽減）にする（38ページ）。**

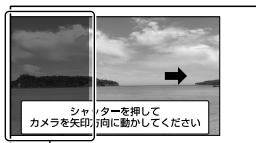
2 **シャッターボタンを押して撮影する。**

連写した6枚の画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録する。

スイングパノラマ/3Dスイングパノラマ

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。

1 (スイングパノラマ)または(3Dスイングパノラマ)にする(38ページ)。

2 **撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを深く押し込む。**

撮影されない部分

3 **液晶モニター上の矢印方向に、ガイドの終わりまで、カメラを動かす。**

ガイド

ご注意

- スイングパノラマ中は連続撮影になり、撮影終了までシャッター音が鳴り続けます。

パノラマ画像をスクロール再生する

パノラマ画像はコントロールホイールの中央を押すと、撮影開始から撮影終了まで自動的にスクロールさせて再生できます。もう一度中央を押すと、一時停止します。画面上の►/❚❚をタッチして再生/一時停止することもできます。

全体の中で現在表示されている部分

- パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます（63ページ）。
- 他機で撮影されたパノラマ画像は、実際の撮影サイズと異なって表示されたり、正しくスクロール再生されない場合があります。

シャッタースピード優先

シャッタースピードを調整し、動きを止めて写したり、軌跡を写したりするなど動くものの表現を変えた撮影ができます。

1 S（シャッタースピード優先）にする（38ページ）。

2 コントロールホイールを回して希望の数値を選び、中央を押す。または、画面上の/をタッチして希望の数値を選ぶ。

シャッタースピードについて

シャッタースピードを速くすると、走っている人や車、波しぶきなどの動きのあるものが止まったように見えます。

シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。

絞り優先

ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

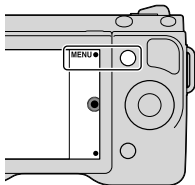
1　A（絞り優先）にする（38ページ）。

2　コントロールホイールを回して希望の数値を選び、中央を押す。または、画面上の / をタッチして希望の数値を選ぶ。

- 設定した数値で動画も撮影できる。

フラッシュモードを選ぶ

1　フラッシュを取り付け、発光部を持ち上げる（18ページ）。

2　MENU→［カメラ］→［フラッシュモード］を選ぶ。

3 コントロールホイールを回して好みのモードを選び、中央を押す。
または、画面上の項目を上下になぞって好みのモードを中央に移動させてからタッチする。

(発光禁止)：フラッシュ発光部を上げていても発光しない。

(自動発光)：光量不足や逆光と判断したとき発光する。

(強制発光)：必ず発光する。

(スローシンクロ)：必ず発光する。被写体だけでなく背景も明るく撮れる。

(後幕シンクロ)：露光が終わる直前のタイミングで発光する。動いている被写体の軌跡が自然な感じに撮れる。

- 選択可能なフラッシュモードは撮影モードによって異なる（59ページ）。

ご注意

- [おまかせオート]のときは、[強制発光]を選べません。

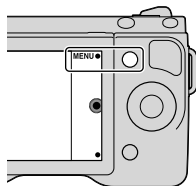
フラッシュ光の届く距離

付属のフラッシュは、ISO感度と絞り値によってフラッシュ光が届く距離が変わります。

	F2.8	F3.5	F5.6
ISO100	1 ～ 2.5m	1 ～ 2m	1 ～ 1.25m
ISO3200	5.6 ～ 14m	4.5 ～ 11.2m	2.8 ～ 7m

画像サイズ/記録設定を変える

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、ビットレートが大きいほど高精細になります。

1 MENUボタンを押す。
または、画面上のMENUをタッチする。

2 [画像サイズ] → [画像サイズ]を選ぶ。
動画の場合は[画像サイズ] → [記録設定]を選ぶ。

3 希望のモードを選ぶ。

静止画

[縦横比]が3：2のとき			用途例
✓	L：16M	4912×3264画素	A3ノビサイズまでの印刷
	M：8.4M	3568×2368画素	A4サイズまでの印刷
	S：4.0M	2448×1624画素	L/2Lサイズまでの印刷
[縦横比]が16：9のとき			**用途例**
✓	L：14M	4912×2760画素	ハイビジョンテレビでの再生
	M：7.1M	3568×2000画素	
	S：3.4M	2448×1376画素	

3Dスイングパノラマ

	(16:9)	ハイビジョンテレビでの再生に適したサイズで撮影する。 左右：1920×1080
✓	(標準)	標準サイズで撮影する。 左右：4912×1080
	(ワイド)	長いサイズで撮影する。 左右：7152×1080

スイングパノラマ

撮影方向によってサイズが異なります（52ページ）。

✓	(標準)	標準サイズで撮影する。 上下：3872 × 2160 左右：8192 × 1856
	(ワイド)	長いサイズで撮影する。 上下：5536 × 2160 左右：12416 × 1856

動画

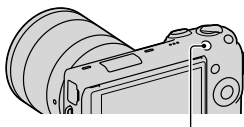
[記録方式]が[AVCHD 60i/60p]のとき		平均ビットレート	説明
	60i 24M（FX）	24 Mbps	1920×1080（60i)の高画質で撮影
✓	60i 17M（FH）	17 Mbps	1920×1080（60i)の標準画質で撮影
	60p 28M（PS）	28 Mbps	1920×1080（60p)の最高画質で撮影
	24p 24M（FX）	24 Mbps	1920×1080（24p)の高画質で撮影 映画のような雰囲気で記録できる
	24p 17M（FH）	17 Mbps	1920×1080（24p)の標準画質で撮影 映画のような雰囲気で記録できる

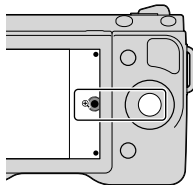
[記録方式]が[MP4]のとき		平均ビットレート	説明
✓	1440×1080 12M	12 Mbps	1440×1080で撮影
	VGA 3M	3 Mbps	VGAサイズで撮影

ご注意

- 16:9で撮影した静止画やパノラマ撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。
- [記録設定]を[60p 28M（PS)]にして撮影した動画は、「PMB」でのディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。
- [記録設定]を[60i 24M (FX)] / [24p 24M (FX)]にして撮影した動画は、「PMB」でのAVCHDディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。 そのままの画質で保存したいときはブルーレイディスクに保存してください。
- 60p、24pの動画をテレビで見るときは60p、24pに対応したテレビが必要です。対応していないテレビの場合、60iとして出力されます。

拡大して見る（拡大再生）

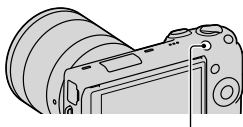
1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする。

▶（再生）ボタン

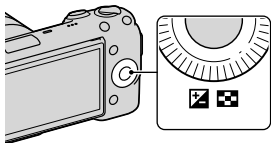
2 拡大したい画像を表示して、コントロールホイールの中央の⊕（拡大）を押す。
または、画面上の⊕をタッチする。

3 コントロールホイールを回して拡大倍率を選ぶ。
または、画面上の⊕または⊖をタッチする。

4 コントロールホイールの上下左右で表示する場所を移動する。
または、画像をなぞって表示する場所を移動する。

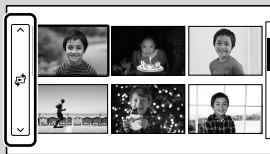
- 画像をタッチすると、タッチした位置を中心に拡大する。
- 拡大をやめるには、✖を選ぶ。

一覧表示で見る

1 ▶（再生）ボタンを押して、再生モードにする。

2 コントロールホイールの ⊞（一覧表示）を押す。

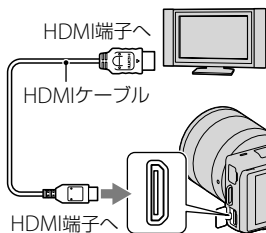
6枚同時に表示される。

3 コントロールホイールを回して画像を選ぶ。

- 画面を上下になぞると、画像を素早く送ることができる。
- 1枚再生に戻るには、表示したい画像を選び、中央を押す。
  または、表示したい画像をタッチする。

希望のフォルダーを表示する

一覧表示にして、画面左側のバーを選び、コントロールホイールの上下を押して、希望のフォルダーを選びます。バーをタッチして選ぶこともできます。バーの中央を押すと、ビューモードを切り換えることができます。

テレビで見る

本機の画像をテレビでみるには、HDMIケーブル（別売）とHDMI端子のあるハイビジョンテレビが必要です。

1　本機とテレビをHDMIケーブル（別売）でつなぐ。

ご注意

- 本機側はHDMIミニ端子、テレビ側はテレビの端子にあったタイプのHDMIケーブルをお使いください。

3D対応テレビで3D画像を見るときは

HDMIケーブル（別売）で3D対応テレビと接続すると、本機で撮影した3D画像をお楽しみいただけます。

MENU→［再生］→［3D鑑賞］を選ぶ。

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

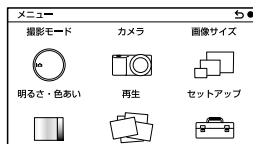
海外で使うときは

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じ方式（NTSC）のカラーテレビが必要です。

NTSC方式

アメリカ、カナダ、韓国、台湾、メキシコなど

メニュー一覧

MENUを押すと、[撮影モード] [カメラ] [画像サイズ] [明るさ・色あい] [再生] [セットアップ]の6つの項目が表示されます。
それぞれの項目の中で、いろいろな機能が設定できます。そのときに設定できない機能はグレーで表示されます。

撮影モード

露出モードやパノラマ、シーンセレクションなど、カメラの撮影モードを変えます。

おまかせオート	カメラがシーンを自動判別して、オート撮影する。
シーンセレクション	撮りたい被写体や環境に適したモードで撮影する。 （ポートレート/風景/マクロ/スポーツ/夕景/夜景ポートレート/夜景/手持ち夜景）
人物ブレ軽減	暗めの室内や望遠撮影時でもブレを抑えて撮影する。
スイングパノラマ	パノラマサイズで撮影する。
3Dスイングパノラマ	3D対応テレビで再生する3Dパノラマ画像を撮影する。
マニュアル露出	絞りとシャッタースピードを調節して撮影する。
シャッタースピード優先	シャッタースピードを調整し、動くものの表現を変えて撮影する。
絞り優先	ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影する。
プログラムオート	露出（シャッタースピードと絞り）以外はお好みの設定ができるオート撮影。

カメラ

連続撮影、セルフタイマー、フラッシュ発光などの撮影設定を行います。

ドライブモード	連写、セルフタイマー、ブラケットなどを設定する。 （1枚撮影/連続撮影/速度優先連続撮影/セルフタイマー /セルフタイマー（連続）/連続ブラケット/リモコン）
フラッシュモード	発光方式を選ぶ。 （発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/後幕シンクロ）
フォーカス切換	ピント合わせの方法を、自動か手動か選ぶ。 （オートフォーカス/DMF/マニュアルフォーカス）
オートフォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 （マルチ/中央重点/フレキシブルスポット）
オートフォーカスモード	ピント合わせの方法を選ぶ。 （シングル/コンティニュアス）
被写体追尾	被写体を追尾して自動でピントを合わせ続ける。 （入/切）
プレシジョンデジタルズーム	デジタルズームの設定をする。
顔検出	人の顔を自動でとらえ、ピントや露出を合わせるための設定をする。 （入（登録顔優先）/入/切）
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録や編集を行う。 （新規登録/優先順序変更/削除/全削除）
スマイルシャッター	笑顔をとらえるたびに、自動的に撮影する。 （入/切）
美肌効果	顔検出時、被写体の肌をなめらかに撮影する。 （入/切）
撮影アドバイス一覧	すべての撮影アドバイスを見る。
背面モニター表示（DISP）	液晶モニターの撮影画面に表示する情報を切り換える。 （グラフィック表示/全情報表示/文字サイズ（大）表示/情報表示なし/ヒストグラム/ファインダー撮影用）

ファインダー表示(DISP)	ファインダーの撮影画面に表示する情報を切り換える。 (基本情報表示/ヒストグラム)
DISPボタン(背面モニター)	DISPボタンを押して液晶モニターに表示される情報の 種別を設定する。

画像サイズ

画像サイズや横縦比などを設定します。

静止画	
画像サイズ	画像サイズを設定する。 (3:2:L: 16M/M: 8.4M/S: 4.0M) (16:9:L: 14M/M: 7.1M/S: 3.4M)
横縦比	横縦の比率を選ぶ。 (3:2/16:9)
画質	圧縮率を選ぶ。 (RAW/RAW+JPEG/ファイン/スタンダード)
3Dパノラマ	
画像サイズ	3Dパノラマ撮影時の画像サイズを設定する。 (16:9/標準/ワイド)
パノラマ撮影方向	3Dパノラマ撮影時、カメラを動かす方向を選ぶ。 (右/左)
パノラマ	
画像サイズ	パノラマ撮影時の画像サイズを設定する。 (標準/ワイド)
パノラマ撮影方向	パノラマ撮影時、カメラを動かす方向を選ぶ。 (右/左/上/下)
動画	
記録方式	AVCHD 60i/60pかMP4かを選ぶ。
記録設定	動画の画像サイズとフレームレート、画質を選ぶ。 (AVCHD 60i/60p時:60i 24M(FX)/60i 17M(FH)/60p 28M(PS)/24p 24M(FX)/24p 17M(FH)) (MP4時:1440x1080 12M/VGA 3M)

明るさ・色あい

測光などの明るさに関する設定や、ホワイトバランスなど色あいに関する設定を行います。

露出補正	画像全体の明るさを補正する。 （−3.0EV ～＋3.0EV）
ISO感度	明るさに対する感度を設定する。 （ISO AUTO/100 ～ 25600）
ホワイトバランス	光源に合わせて画像の色あいを調整する。 （オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯：温白色/蛍光灯：白色/蛍光灯：昼白色/蛍光灯：昼光色/フラッシュ /色温度・カラーフィルター /カスタム/カスタムセット）
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 （マルチ/中央重点/スポット）
調光補正	フラッシュ発光量を調整する。 （−2.0EV ～＋2.0EV）
DRO/オートHDR	明るさやコントラストを自動補正する。 （切/Dレンジオプティマイザー /オートHDR）
ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。 （切/トイカメラ/ホップカラー /ポスタリゼーション/レトロフォト/ソフトハイキー /パートカラー /ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア）
クリエイティブスタイル	画像の仕上がり具合を選ぶ。 （スタンダード/ビビッド/ポートレート/風景/夕景/白黒）

再生

再生機能の設定をします。

削除	画像を削除する。 （画像選択/フォルダー内全て/AVCHDビュー動画全て）
スライドショー	画像を自動再生する。 （リピート/間隔設定/画像種別）
ビューモード	再生する画像のグルーピング方法を設定する。 （フォルダービュー（静止画）/フォルダービュー（MP4）/AVCHDビュー）

一覧表示	一覧表示する枚数を選ぶ。 （6枚/12枚）
回転	画像を回転する。
プロテクト	画像の保護、解除の設定をする。 （画像選択/静止画全て解除/動画（MP4）全て解除/AVCHDビュー動画全て解除）
3D鑑賞	3D対応テレビと接続して3D画像を再生する。
拡大	画像を拡大する。
音量設定	動画の音量を設定する。
プリント指定	プリントする画像の指定や設定を行う。 （DPOF指定/日付プリント）
画面表示切換（DISP）	再生画面に表示する情報を切り換える。 （情報表示あり/ヒストグラム/情報表示なし）

セットアップ

撮影の詳細な設定や、カメラ全体に関する設定を行います。

撮影設定	
AF補助光	暗い場所でピントを合わせるための補助光を設定する。 （オート/切）
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを防ぐために、プリ発光する。 （入/切）
FINDER/LCD切換設定	電子ビューファインダー（別売）と液晶モニターの表示切り換え方法を設定する。 （オート/マニュアル）
ライブビュー表示	画面表示に露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 （設定効果反映On/設定効果反映Off）
オートレビュー	撮影直後、撮った画像を表示する時間を設定する。 （10秒/5秒/2秒/切）
グリッドライン	構図合わせのための補助線（グリッドライン）を表示する。 （3分割/方眼/対角＋方眼/切）

ピーキングレベル	ピントが合っている部分の輪郭を指定した色で表示する。 （高/中/低/切）
ピーキング色	輪郭を強調するピーキング表示の色を設定する。 （ホワイト/レッド/イエロー）
MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 （入/切）
MFアシスト時間	[MFアシスト]機能で拡大表示する時間を設定する。 （無制限/5秒/2秒）
色空間	再現できる色の範囲を変更する。 （sRGB/AdobeRGB）
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 （入/切）
レンズなし時のレリーズ	レンズが装着されていない状態でシャッターが切れるかどうか設定する。 （許可/禁止）
アイスタートAF	電子ビューファインダー（別売）をのぞくと同時にオートフォーカスするかどうかを設定する。 （入/切）
電子先幕シャッター	電子先幕シャッター機能を使用するかどうかを設定する。 （入/切）
長秒時ノイズリダクション	長時間露光時のノイズ軽減処理を設定する。 （入/切）
高感度ノイズリダクション	高感度撮影時のノイズ軽減処理を設定する。 （標準/弱）
レンズ補正（周辺光量）	画面周辺が暗くなるのを補正する。 （オート/切）
レンズ補正（倍率色収差）	画面周辺部の色のずれを軽減する。 （オート/切）
レンズ補正（歪曲収差）	画面の歪みを補正する。 （オート/切）
動画音声記録	動画撮影時の音声を設定する。 （入/切）
風音低減	動画撮影時の風音を低減する。 （入/切）

AF微調整	マウントアダプター LA-EA2（別売）装着時、オートフォーカスでのピント位置を微調整する。 （AF微調整設定/調整値/調整値クリア）
本体設定	
メニュー呼び出し先	メニューの呼び出し先を変更する。 （先頭/前回位置）
カスタムキー設定	ソフトキーやコントロールホイールの右キーに機能を設定する。 （右キーの設定/ソフトキー Bの設定/ソフトキー Cの設定/カスタム）
タッチ操作	タッチパネルで操作するかどうかを設定する。 （入/切）
操作音	操作時の音を設定する。 （入/切）
日時設定	日時を設定する。
エリア設定	本機を使うエリアを選ぶ。
ヘルプガイド表示	ヘルプガイドを表示/非表示する。 （入/切）
パワーセーブ	省電力モードになる時間を設定する。 （30分/5分/1分/20秒/10秒）
モニター明るさ	液晶モニターの明るさを調節する。 （オート/マニュアル/屋外晴天）
ファインダー明るさ	電子ビューファインダー（別売）の明るさを調節する。 （オート/マニュアル）
画面色	液晶モニター画面の色を選ぶ。 （ブラック/ホワイト/ブルー /ピンク）
ワイド画像	ワイド画像の表示方法を設定する。 （フル/標準）
縦記録画像の再生	縦位置で撮影した画像の再生方法を選ぶ。 （縦向き/横向き）
HDMI解像度	HDMI対応テレビ接続時の解像度を設定する。 （オート/1080p/1080i）
HDMI機器制御	ブラビアリンク対応テレビから本機を操作するための設定をする。 （入/切）

USB接続	USB接続の方法を設定する。 （オート/マススストレージ/MTP）
クリーニングモード	イメージセンサーをクリーニングする。
バージョン表示	本機およびレンズのバージョンを表示する。
デモモード	動画再生のデモンストレーションを設定する。 （入/切）
設定値リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
メモリーカードツール	
フォーマット	メモリーカードを初期化する。
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。 （連番/リセット）
フォルダー形式	フォルダー名の付けかたを設定する。 （標準形式/日付形式）
撮影フォルダー選択	画像を保存するフォルダーを選ぶ。
フォルダー新規作成	新しいフォルダーを作成する。
管理ファイル修復	画像を管理するファイルに異常が発生したときに修復する。
メモリーカード残量表示	動画の撮影可能時間および静止画の撮影可能枚数を表示する。
Eye-Fiセットアップ*	
アップロード設定	Eye-Fiカードを利用した本機のアップロード機能を設定する。 （入/切）

* Eye-Fiカード（別売）挿入時のみ表示されます。
飛行機の中ではEye-Fiカードを本機に挿入しないでください。挿入している場合は[アップロード設定]を[切]にしてください。
Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

撮影モードごとの設定可能機能

選んでいる撮影モードによって、設定できない機能があります。
○は選択可能、×は選択不可能を表しています。
設定できない機能はグレーで表示されます。

撮影モード		露出補正	セルフタイマー	連続撮影	顔検出	ピクチャーエフェクト
(おまかせオート)		×	○	○	○	×
(スイングパノラマ)		○	×	×	×	×
(3Dスイングパノラマ)		○	×	×	×	×
(人物ブレ軽減)		○	×	×	○	×
SCN(シーンセレクション)		×	○	×	○	×
		×	○	○	○	×
		×	○	×	○	×
		×	○	×	○	×
		×	○	×	○	×
		×	○	×	○	×
		×	×	×	○	×
		×	○	×	○	×
P(プログラムオート)		○	○	○	○	○
A(絞り優先)		○	○	○	○	○
S(シャッタースピード優先)		○	○	○	○	○
M(マニュアル露出)		×	○	○	○	○

ご注意

- 撮影モード以外の条件にも制限される場合があります。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

選べないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影モード		発光禁止	自動発光	強制発光	スローシンクロ	後幕シンクロ
(おまかせオート)		○	○	×	×	×
(スイングパノラマ)		○	×	×	×	×
(3Dスイングパノラマ)		○	×	×	×	×
(人物ブレ軽減)		○	×	×	×	×
SCN（シーンセレクション）		○	○	○	×	×
		○	×	○	×	×
		○	○	○	×	×
		○	×	○	×	×
		○	×	○	×	×
		○	×	×	×	×
		○	×	×	×	×
		×	×	×	○	×
P（プログラムオート）		×	×	○	○	○
A（絞り優先）		×	×	○	○	○
S（シャッタースピード優先）		×	×	○	○	○
M（マニュアル露出）		×	×	○	○	○

ご注意

- フラッシュモードは上記の撮影モード以外の条件にも制限される場合があります。
- 発光するモードにしていても、フラッシュ発光部を上げていないと発光しません。
- [自動発光]は、撮影モードが[おまかせオート]と一部の[シーンセレクション]のときのみ選べます。

ソフトウェアをインストールする

本機で撮影した画像をいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には以下のソフトウェアが収録されています。

- 「Sony Image Data Suite」
- 「PMB」（Picture Motion Browser）（Windowsのみ）

ご注意

- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- 「PMB」をすでにインストールしているパソコンで、付属のCD-ROMのバージョンより小さい番号をご使用の場合は、付属のCD-ROMからもインストールしてください。

Windows

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには、下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1
「PMB」使用時	**CPU：**Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上（HD動画再生･編集時はIntel Core Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上（HD FX/HD FH）、Intel Core 2 Duo 2.40 GHz以上（HD PS）） **メモリー：**512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上） **インストール時に必要なハードディスク容量：**約500 MB **ディスプレイ：**1024×768ドット以上
「Image Data Converter」使用時	**CPU/メモリー：**Pentium 4以上/1 GB以上 **ディスプレイ：**1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0以上が必要です。

1　パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

2　[インストール]をクリックする。

- 「Sony Image Data Suite」と「PMB」にチェックが入っていることを確認して、画面の表示に従ってインストールする。
- 画面の指示に従ってカメラとパソコンを接続する。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがある。

3　インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

ソフトウェアがインストールされ、デスクトップにショートカットが表示される。

Macintosh

付属ソフトウェアを使ったり、USB接続で画像を取り込んだりするには、下記の推奨環境が必要です。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	**USB接続：**Mac OS X（v10.3 ～ v10.6） **「Image Data Converter」：**Mac OS X v10.5/ Mac OS X v10.6（Snow Leopard）
「Image Data Converter」使用時	**CPU：**Intel Core Solo/Core Duo/Core2 Duoなどのインテルプロセッサー **メモリ：**1 GB以上を推奨 **ディスプレイ：**1024×768ドット以上

画像をパソコンに取り込む

1 Macintoshの電源が入った状態で、CD-ROM(付属)をディスクドライブに入れる。

2 CD-ROMアイコンをダブルクリックする。

3 [MAC]フォルダの中の[IDS_INST.pkg]を任意のフォルダにコピーする。

4 コピー先のフォルダの中の[IDS_INST.pkg]をダブルクリックする。

• 以降、画面の指示に従ってインストールを進め、完了する。

付属のソフトウェアでできること

「PMB」

「PMB」をご利用になると、次のことなどができます。
- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧できます。
- 画像に日付を挿入して保存や印刷ができます。

詳しくはPMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または「PMBヘルプ」をご覧ください。
ヘルプを起動するには、デスクトップ上の（PMBヘルプ）をダブルクリックします。
スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PMB] → [PMBヘルプ]の順にクリックします。

ご注意

- 「PMB」は、Macintoshには対応しておりません。

「Sony Image Data Suite」

「Sony Image Data Suite」をご利用になると、RAW画像をトーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集できます。本機で撮影したRAW画像/JPEG画像を表示、比較もできます。

詳しくはImage Data Suiteサポートページ（http://www.sony.co.jp/ids-sj/）、または「Image Data Converter」のヘルプをご覧ください。

動画のディスクを作成する

本機で記録したAVCHDビュー動画からディスクを作成することができます。

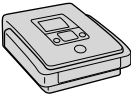
ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。

作成方法は、「PMB」を使ってパソコンで作成する方法と、DVDライターなどのパソコン以外の機器を使って作成する方法を紹介します。

再生機器	ディスクの種類	特徴
ブルーレイディスク再生機器 （ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3 など）	Blu-ray	ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質（HD）の動画をDVDディスクに比べ長時間記録できます。
AVCHD規格対応再生機器 （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	AVCHD	ハイビジョン画質（HD）の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。 • ハイビジョン画質のディスクは、一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。
一般的なDVD再生機器 （DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）	STD	ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（STD）に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

パソコンで作成する

「PMB」を使ってAVCHDビュー動画をパソコンに取り込み、ブルーレイディスク、AVCHDディスク、または標準画質（STD）のディスクを作成することができます。

「PMB」を使ったディスクの作り方についての詳細は「PMBヘルプ」をご覧ください。

ご注意

- ブルーレイディスクを作成するには、「PMB」インストール画面でBD アドオンソフトウェアをインストールする必要があります。
- [記録設定]を[60p 28M (PS)]にして撮影した動画は、「PMB」でのディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。
- [記録設定]を[60i 24M (FX)] / [24p 24M (FX)]にして撮影した動画は、「PMB」でのAVCHDディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。 そのままの画質で保存したいときはブルーレイディスクに保存してください。
- AVCHDビュー動画とは、動画記録方式を[AVCHD 60i/60p]にして撮影した動画です。

パソコン以外の機器で作成する

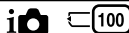
ブルーレイレコーダーやDVDライターでもディスクを作成することができます。
機器によって作成できるディスクの種類が異なります。

使用する機器		作成できるディスクの種類
	ブルーレイレコーダーを使ってブルーレイディスクや標準画質(STD)のディスクを作成する。	Blu-ray STD
	DVDirect Express以外のDVDライターを使ってAVCHDディスクまたは、標準画質(STD)のディスクを作成する。	AVCHD STD
	HDDレコーダーなどを使って標準画質(STD)のディスクを作成する。	STD

ご注意

- 作成方法の詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製DVDirect (DVDライター)をお使いの場合、データの転送にはメモリーカードスロットとUSB接続が使えます。
- ソニー製DVDirect (DVDライター)を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.jp/dvdirect/

撮影可能枚数を確認する

メモリーカードを入れて電源スイッチを「ON」にすると、液晶モニターに、撮影可能枚数（現在の設定で撮影を続けると、あと何枚撮影できるか）が表示されます。

ご注意

- 撮影可能枚数が「0」で黄色く点滅したときは、メモリーカードの容量がいっぱいです。メモリーカードを交換するか、メモリーカード内の画像を削除してください（25ページ）。
- 撮影可能枚数が「NO CARD」で黄色く点滅したときは、メモリーカードが入っていません。メモリーカードを入れてください。

1枚のメモリーカードで撮影できる枚数/時間

静止画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。撮影状況によって記録可能枚数は異なります。

画像サイズ：L 16M
横縦比3:2のとき*

（単位：枚）

容量 / 画質	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
スタンダード	410	820	1650	3300	6700
ファイン	290	590	1150	2400	4800
RAW+JPEG	80	155	320	640	1250
RAW	105	215	440	880	1750

* [横縦比]を[16:9]に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます（[RAW]設定時は除く）。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です。また、MP4時は1つの動画ファイルの最大サイズは約2GBです。

記録設定＼容量	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
60i 24M（FX）	10分	20分	40分	1時間30分	3時間
60i 17M（FH）	10分	30分	1時間	2時間	4時間5分
60p 28M（PS）	9分	15分	35分	1時間15分	2時間30分
24p 24M（FX）	10分	20分	40分	1時間30分	3時間
24p 17M（FH）	10分	30分	1時間	2時間	4時間5分
1440×1080 12M	20分	40分	1時間20分	2時間45分	5時間30分
VGA 3M	1時間10分	2時間25分	4時間55分	10時間	20時間

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。
  動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

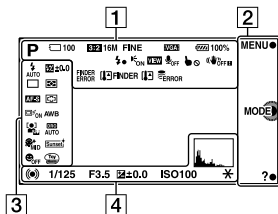
1つのバッテリーで撮影できる枚数

充電したバッテリー（付属）で撮影できる枚数の目安は430枚です。使用状況によって撮影可能枚数は異なります。

- 充電したバッテリーを使い、下記の条件で測定した数値です。
  –温度が25℃
  –[画質]が[ファイン]
  –オートフォーカスモードが[シングル]
  –30秒ごとに1回撮影
  –2回に1度、フラッシュ（HVL-F7S）を発光する
  –10回に1度、電源を入/切する
  –CHARGEランプ消灯後、約1時間充電
  –当社製の"メモリースティック PRO デュオ"（別売）使用時
- 測定方法はCIPA規格による。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）

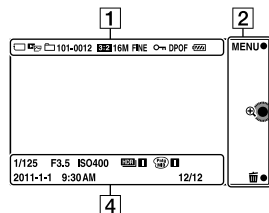
画面表示一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールホイールのDISP（画面表示切換）で、液晶モニターの表示を切り換えられます。

撮影スタンバイ時

グラフィック表示

動画撮影時

再生時

1

表示	意味
i P A S M	撮影モード
	シーンセレクション
	おまかせシーン認識マーク
3:2 16:9	静止画の縦横比
16M 14M 8.4M 7.1M 4M 3.4M 3D WIDE STD 16:9	静止画の画像サイズ
RAW RAW+J FINE STD	静止画の画質
100	静止画撮影可能枚数
60i FX 60i FH 60p PS 24p FX 24p FH 1080 VGA	動画の記録設定

表示	意味
OFF	メモリーカード/アップロード
123分	動画の録画可能時間
100%	バッテリー容量
	フラッシュ充電表示
ON	AF補助光
VIEW	ライブビュー表示
OFF	動画音声記録
	タッチ操作切
OFF OFF ON ON	手ブレ補正/手ブレ警告
FINDER ERROR	電子ビューファインダー（別売）接続エラー警告
FINDER FINDER	電子ビューファインダー（別売）の温度上昇警告
	温度上昇警告
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
MP4 AVCHD	ビューモード
101-0012	再生フォルダー -ファイル番号
	プロテクト
DPOF	プリント予約

2

表示	意味
MENU● MODE● ?●	ソフトキー

3

表示	意味
AUTO SLOW REAR	フラッシュモード/赤目軽減
10 2 C3 C5 BRK C 0.3EV BRK C 0.7EV	ドライブモード
DMF AF-S AF-C MF	フォーカスモード
±0.0	調光補正
	測光モード
	フォーカスエリアモード
ON OFF	被写体追尾
OFF ON	顔検出
HI MID LO OFF	美肌効果
AWB -1 0 +1 +2 WB 7500K A7 G7	ホワイトバランス
D-R OFF DRO AUTO HDR AUTO	DRO/オートHDR

表示	意味
Std. Vivid Port. Land. Sunset B/W	クリエイティブスタイル
Pos Pop Rtro Part R Sfth key HC BW Toy Norm Soft Mid Pntg Mid Rich BW Mini AUTO OFF	ピクチャーエフェクト
[☻]	スマイル検出感度インジケーター

4

表示	意味
● (●) ( )	フォーカス状況
1/125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
M.M. **±0.0**	メータードマニュアル
±0.0 –3··2··1··0··1··2··3+	露出補正
ISO400	ISO感度
✱	AEロック
1" 1/30 1/250 1/4000	シャッタースピードインジケーター
F1.4 2.8 5.6 11 22	絞りインジケーター
録画 0:12	動画の記録時間（分：秒）

表示	意味
2011-1-1 9:30AM	画像の記録日時
12/12	画像番号/ビューモード内画像枚数
HDR !	オートHDR処理結果
Pntg MID ! Rich BW !	ピクチャーエフェクト処理結果
	ヒストグラム

その他

もっと詳しく知りたい（αハンドブック）

「αハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

- 「αハンドブック」を見るには、Adobe Reader が必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [ハンドブック]をクリックする。

3 [インストール]をクリックする。

4 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [Handbook] → [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 74 ～ 77ページの項目をチェックする。また、「αハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（57ページ）。

❹ 「α」専用サポートサイトで確認する。
http://www.sony.co.jp/DSLR/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの先端でロックレバーを押しながら入れてください(13ページ)。
- バッテリーはNP-FW50のみ使用できます。NP-FW50か確認してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。またはバッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください(11ページ)。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

電源が入らない。

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(13ページ)。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください(11ページ)。
- バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力状態(パワーセーブ)になります。
  シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーはNP-FW50のみ使用できます。NP-FW50か確認してください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、CHARGEランプが点滅することがまれにあります。
- 点滅パターンは、速い点滅(約0.15秒)と遅い点滅(約1.5秒)の2種類があります。速い点滅のときは、バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再び速い点滅をしたときは、バッテリーの異常が考えられます。遅い点滅のときは、充電に適した温度外で充電しているため、充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開し、CHARGEランプは点灯になります。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。

撮影する

電源を入れても液晶モニターがつかない。

- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力状態（パワーセーブ）になります。シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

シャッターが切れない。

- メモリーカードの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっています。解除してください。
- メモリーカードの空き容量を確認してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- レンズが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください（15ページ）。

撮影に時間がかかる。

- ノイズ軽減処理機能が働いています。故障ではありません。
- RAWモードで撮影しています。RAWモードでの撮影はデータ量が大きいため、撮影に多少時間がかかる場合があります。
- オートHDR処理中です。

ピント（フォーカス）が合わない。

- 被写体が近すぎます。レンズの最短撮影距離を確認してください。
- マニュアルフォーカスになっています。[フォーカス切換] を [オートフォーカス] にしてください。
- 光量が不足してます。
- オートフォーカスの苦手な被写体を撮ろうとしています。[フレキシブルスポット] またはマニュアルフォーカス撮影を行ってください。

フラッシュ撮影ができない。

- フラッシュ発光部を持ち上げてください（18ページ）。
- 正しくフラッシュが取り付けられていません。フラッシュをはずし、正しく取り付け直してください（18ページ）。

- 以下の撮影時は、フラッシュを使えません。
  - [連続ブラケット]
  - [スイングパノラマ]
  - [3Dスイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]の[夜景][手持ち夜景]
  - [人物ブレ軽減]
  - 動画撮影

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした丸い斑点が写っている。

- 空気中のほこりがフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

フラッシュの充電時間が長い。

- 短時間に連続してフラッシュを発光させています。連続してフラッシュを発光すると、フラッシュ部が熱くなるのを防ぐため、通常より充電時間が長くなることがあります。

フラッシュ撮影した画像が全体的に暗い。

- フラッシュの調光距離(フラッシュ光の届く距離)より撮影距離が遠い場合は、フラッシュ光が被写体に届かずに暗い画像となります。また、ISO感度を変更するとフラッシュの調光距離も変化します(42ページ)。

正しい撮影日時が記録されない。

- 日付・時刻を合わせてください(20ページ)。
- エリア設定で現在地と異なる場所が設定されています。MENU→ [セットアップ] → [エリア設定]で設定し直してください。

シャッターボタンを半押しすると絞り値、シャッタースピードが点滅する。

- 被写体が明るすぎる、または暗すぎるため、本機の調整範囲を超えています。設定し直してください。

画像が白っぽくなる(フレア)。
光のにじみが現れる(ゴースト)。

- 逆光で撮影したため、レンズに余分な光が入っています。ズームレンズ使用時は、レンズフードを取り付けてください。

画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードをご使用の場合は、いったん取りはずしてお試しください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。また、レンズの光学的な特性により、画像周辺部が暗く写る場合（光量低下）があります。この場合は［周辺光量低下補正］機能を使用することをおすすめします。

被写体の目が赤く写る。

- 赤目軽減モードにしてください。
- 被写体に近づいてフラッシュ調光距離内（42ページ）で撮影してください。

液晶モニターに点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません（78ページ）。

画像がブレる。

- 暗いところでフラッシュを使わずに撮影したので、手ブレを起こしています。シャッタースピードが遅くなるので、三脚またはフラッシュの使用をおすすめします（18ページ）。［シーンセレクション］の［手持ち夜景］（39ページ）、［人物ブレ軽減］（39ページ）も効果的です。

液晶モニターの露出補正値が点滅する。

- 被写体が明る過ぎる、または暗過ぎて、本機の測光範囲を超えています。

画像を見る

再生できない。

- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。

使用上のご注意

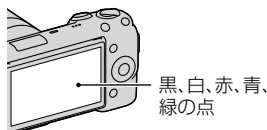
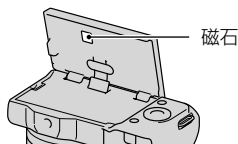
表示言語について

本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機は、1080 60pの動画に対応しています。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、眼の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断してください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。なお、お子様の(特に6歳未満の幼児)の視覚は発達段階にあります。お子様が3D画像を鑑賞する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子様に上記を守らせるように監督してください。

液晶モニターおよびレンズについてのご注意

- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶モニターを持って本機を持ち運ばないでください。
- 液晶モニターの裏には磁石が設置されています。フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物を挟まないでください。

- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。また、初めは画面が通常よりも少し暗くなります。
- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因となります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズフロントキャップを付けてください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

本機には、カメラの特性に適合するように設計されたソニー製レンズ/アクセサリーのご使用をおすすめします。他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

スマートアクセサリーターミナル2についてのご注意

フラッシュなどのアクセサリーを本機のスマートアクセサリーターミナル2に取り付け/取り外しする場合は、電源を「OFF」にしてから行ってください。取り付けの際は、最後まで差し込んでからネジを締め、本機にしっかり固定されていることを確認してください。

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

グリップについて
グリップ部は特殊な塗装を施しています。色の濃い布・皮革などがこすれたりすると色が移ることがあります。

保管方法
使用しないときは、必ずレンズフロントキャップを付けてください。

本機の温度について
本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

動作温度にご注意ください
本機の動作温度は約0℃～ 40℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について
結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露を起こりにくくするために
本機を寒い所から急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは
電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからお使いください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について
本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バックアップ電池を内蔵しています。充電式バックアップ電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し3か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式バックアップ電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。バッテリー充電のたびにリ

セットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください（裏表紙）。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプター（別売）を使ってコンセントにつないで、本機の電源を切ったまま24時間以上放置してください。

メモリーカードについて

メモリーカードおよびカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。故障の原因になります。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[フォーマット]や[削除]では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

撮影・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機で初めてお使いになる場合は、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長期間、画像の撮影や消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット]（57ページ）を行ってください。
- 万一、カメラやメモリーカードなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピー（バックアップ）をおとりください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- カメラを太陽など強い光源へ向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください（80ページ）。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、メモリーカードが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れやゴミは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。発光による熱でフラッシュ表面の付着物が発煙したり、焦げる場合があります。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。メモリーカードなどを飲みこむおそれがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

RAW画像について

本機で撮影したRAW画像を開くにはCD-ROM（付属）の「Image Data Converter」が必要です。パソコンでの加工を予定していない場合はJPEG形式での撮影をおすすめします。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。
このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
–High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
–AVCHD規格非対応の機器
また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。
このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。

- ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書について

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

本書中のデータについて

性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（25℃）、チャージランプ消灯後、約1時間充電したバッテリー使用時のものです。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しています。

主な仕様

本体

[形式]

カメラタイプ：レンズ交換式デジタルカメラ
使用レンズ：Eマウントレンズ

[撮像部]

イメージセンサー：23.5 × 15.6 mm（APS-Cサイズ）、CMOSイメージセンサー
総画素数：約16 700 000画素
カメラ有効画素数：約16 100 000画素

[アンチダスト]

システム：帯電防止コートおよび超音波振動によるアンチダスト機能

[オートフォーカス]

形式：コントラスト検出方式
検出輝度範囲：EV0 ～ EV20（ISO 100相当、F2.8レンズ使用時）

[露出制御]

測光方式：イメージセンサーによる1 200分割測光
測光範囲：EV0 ～ EV20（ISO 100相当、F2.8レンズ使用時）
ISO感度（推奨露光指数）：オート、ISO100 ～ 25600
露出補正：±3.0EV（1/3段ステップ）

[シャッター]

形式：電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード範囲：1/4000 ～ 30秒、バルブ（1/3段ステップ）
フラッシュ同調速度：1/160秒

[記録メディア]

"メモリースティック PRO デュオ"、SDカード

[液晶モニター]

形式：7.5 cm（3.0型）TFT駆動
ドット数：921 600（640×3（RGB）× 480）ドット

[入出力端子]

USB端子：miniB
HDMI端子：HDMIタイプCミニ端子

[電源]

バッテリー：リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50

[その他]

Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
外形寸法（CIPA準拠）：
約110.8×58.8×38.2 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量（CIPA準拠）：
約269 g（バッテリー、"メモリースティック PRO デュオ"を含む）
約210 g（本体のみ）
動作温度：0℃～ 40℃
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF Ver.2.0、Exif Ver.2.3、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
3D静止画記録方式：MPO（MPF Extended（立体視））準拠
動画記録方式（AVCHDビュー）：
AVCHD規格（1080 60p/独自規格）
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

動画記録方式（MP4ビュー）：
MP4方式
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch
USB通信：Hi-Speed USB（USB2.0）

フラッシュ HVL-F7S

ガイドナンバー：7（ISO100・m）
充電時間：約4秒
照射角：16mmレンズをカバー（レンズ表記の焦点距離）
調光補正：±2.0EV（1/3段ステップ）
外形寸法（CIPA準拠）：約35.9×23.8×42.7 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約20.4 g

バッテリーチャージャー BC-VW1

定格入力：AC100 V – 240 V、
50 Hz/60 Hz、4.2 W
定格出力：DC 8.4 V、0.28 A
動作温度：0℃～ 40℃
保存温度：－20℃～＋60℃
最大外形寸法：約63×95×32 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約85 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 8.4 V
公称電圧：DC 7.2V
容量：公称容量 7.7 Wh（1 080 mAh）
定格(最小)容量：7.3 Wh（1 020 mAh）
最大外形寸法：約31.8×18.5×45 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約57 g

レンズ

レンズ	E16mm 単焦点レンズ	E18-55mm ズームレンズ	E55-210mm ズームレンズ
付属機種	NEX-5ND	NEX-5ND/ 5NK/5NY	NEX-5NY
35mm判換算焦点距離[1]（mm）	24	27-82.5	82.5-315
レンズ群一枚	5-5	9-11	9-13
画角[1]	83°	76° - 29°	28.2° -7.8°
最短撮影距離[2]（m）	0.24	0.25	1.0
最大撮影倍率（倍）	0.078	0.3	0.225
最小絞り	f/22	f/22-f/32	f/22-f/32
フィルター径（mm）	49	49	49
外形寸法（最大径×長さ）（約：mm）	62.0×22.5	62.0×60.0	63.8×108
質量（約：g）	67	194	345
補正効果段数[3]	─[4]	約4段	約4段

[1] ここでの35mm判換算焦点距離および画角とは、APS-Cサイズ相当のイメージセンサーを搭載したデジタルカメラでの値を表します。

[2] 最短撮影距離とは、イメージセンサー面から被写体までの最短距離を表します。

[3] シャッタースピード（撮影条件により異なる）

[4] 光学式手ブレ補正は搭載されておりません。

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

焦点距離について

本機での撮影画角は、35mmフィルムカメラの画角よりも狭くなります。お手持ちのレンズの焦点距離を約1.5倍すれば、35mmフィルムカメラとほぼ同じ画角で撮影できる焦点距離に相当する値を求めることができます。
（例：焦点距離50mmのレンズを付けると、35mmフィルムカメラで約75mmに相当する画像が得られます。）

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格"Design rule for Camera Filesystem"（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

商標について

- α はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPROデュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"およびMAGICGATEはソニー株式会社の商標です。
- "InfoLITHIUM（インフォリチウム）"は、ソニー株式会社の商標です。
- "ブラビア プレミアムフォト"は、ソニー株式会社の商標です。
- DVDirectは、ソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- PowerPCは、米国における米国IBM Corporationの登録商標です。
- Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Incの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、PSマーク、"プレイステーション"および"PlayStation"は同社の登録商標です。
- Adobe は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- "Works with PlayStation 3"ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュやAF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪いかた、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブルは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

つづき

⚠注意 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。

禁止

⚠注意

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。

Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

数字・アルファベット順